

# ODA

ピアネット・イルカ

つうかん  
ODA通巻 : 1328



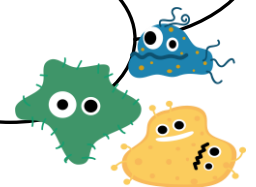
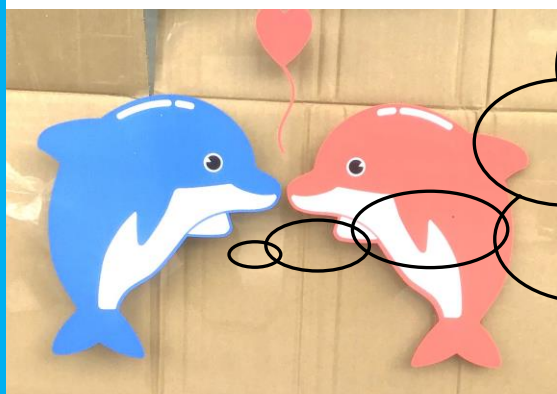
発行 社会福祉法人  
 沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ  
 住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 (1F)  
 単価 100円 (会費に含)  
 TEL 098-890-4890  
 FAX 098-897-1877

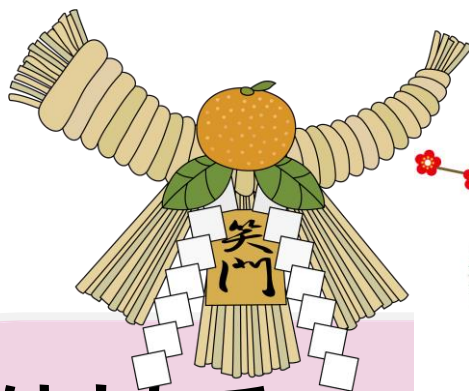
## 目次

しんねん 新年のあいさつ.....2ページ~3ページ半  
 たいさく コロナ対策.....3ページ半~4ページ



きよねん 去年はコロナが大流行して大  
 へん 変な1年でした。  
 こんご 今後コロナに気をつけま  
 しょう





あ  
**明けまして  
おめでとう  
ございます。**



れい わ ねん  
令和3年

しんねん  
新年のあいさつ

まず初めに、旧年中は世界を凍らせ、現在も経済を麻痺させる新型コロナウイルスと共存する生き方を模索しつつ、皆さんのご理解とご協力に心から感謝いたします。

去年はイルカやPAIおきなわでも試行錯誤をしながら、コロナ感染が無いよう新年が始まり、事務所内の出入りを制限したり、自宅待機や在宅勤務をしてきました。

しかし、日頃から制限された障害者にとってはストレスが多くなり、介助者が訪問してくれるのを心待ちにしていた第1涙の年明けでした。介助者自身も「うつさない・うつらない」を心がけくれました。年末も第3波で感染の収束が見えない年

ですが、<sup>あら</sup> <sup>せいかつ</sup> <sup>しかた</sup> <sup>かんが</sup> <sup>きかい</sup> <sup>れいわ</sup> <sup>ねん</sup>  
新たな生活の仕方を考える機会になる令和2年でした。

<sup>れいわ</sup> <sup>ねん</sup> <sup>なに</sup>  
「令和3年、何がしたいですか？」

いろいろとやりたい事ができる年になる事を願うばかりです。オリオンピック  
やパラリンピックも行われますように願って新年のあいさつにします。

<sup>おきなわけん</sup> <sup>じりつせいかつ</sup>  
沖縄県自立生活センターイルカ

<sup>だいひょう</sup> <sup>ながいれいこ</sup>  
代表 長位鈴子

## <sup>たいさく</sup> コロナ対策

ハイタイ！グスーヨー、チューウ  
ガナビラ？（<sup>みな</sup> <sup>す</sup> 皆さん、いかがお過ご  
しですか？）<sup>おきなわ</sup> <sup>じりつ</sup> 沖縄の自立センター  
<sup>かん</sup> <sup>ご</sup> <sup>しまえかわ</sup> <sup>おく</sup> イルカから看護師前川がお送りし



<sup>こんかい</sup> <sup>ていれいかい</sup> <sup>かんせんたいさくけんしゅう</sup> <sup>ないう</sup> <sup>はなし</sup>  
ます！！今回は、定例会でやったコロナ感染対策研修の内容をお話しますね。

もし、<sup>とうじしゃ</sup> <sup>ようせいしゃ</sup> <sup>で</sup> <sup>とき</sup> <sup>す</sup> <sup>にゆういん</sup> <sup>こと</sup> <sup>ばあい</sup>  
当事者でコロナの陽性者が出た時に直ぐに入院する事ができない場合は、  
<sup>とうじしゃ</sup> <sup>かぞく</sup> <sup>かいじょしゃ</sup> <sup>いちばんこま</sup> <sup>たいわん</sup> <sup>きふいただ</sup>  
当事者と家族、介助者が一番困りますよね！！そこで、台湾からご寄付頂いたカ

<sup>つか</sup> <sup>かんせんたいさく</sup> <sup>かんが</sup> <sup>けんしゅうしつ</sup> <sup>とうじしゃ</sup>  
ップを使ってコロナの感染対策ができないか？と考えました。研修室を当事者の

<sup>いえ</sup> <sup>ちか</sup> <sup>かたち</sup> <sup>こじんぼうごぐ</sup> <sup>ぬ</sup> <sup>かたきかた</sup> <sup>ばしょ</sup>  
家に近い形にセットし、カップ（個人防護具）の脱ぎ方着方、コロナがいる場所、

<sup>こじんぼうごぐ</sup> <sup>き</sup> <sup>ばしょ</sup> <sup>ぬ</sup> <sup>ばしょ</sup> <sup>き</sup> <sup>ほうほう</sup> <sup>じっさい</sup>  
カップ（個人防護具）を着る場所、脱ぐ場所を決める方法（ゾーニング）を実際に

やってみることにしました。<sup>けんしゅう</sup> <sup>とき</sup> <sup>き</sup> <sup>てん</sup> <sup>わ</sup> <sup>たいくつ</sup>  
研修をする時に気をつけた点は、分かりやすく退屈し

ない様に笑いも入れた事です。

研修を受けた人は

「暑かった！カッパが皮膚にくっついて動きにくい」

「カッパが軽くてふわふわするから扱が難しい」

など体験をしないと分からなかった感想が出てきました。

研修をやってみて看護師前川の感想は、職員のコロナ感染予防対策の意識は高く、

感染を予防するカッパの着脱も上手で「これならいけるぞ！私達は皆でコロナの

感染を予防する事ができる！」と強く感じました。これからの季節、コロナの感染

対策に加えインフルエンザの予防と体調管理に気を使う事が多くなると思います

が、皆さんと一緒にこの時代を乗り越えていきましょう。



当事者は、じーっと  
するのは苦手で、頭  
ではかるの、とても  
便利